

多少体調が悪くても稽古をすると回復します。これからの日本を背負っていく子供たちに立派に成長してもらいたいです。

毎年3-4回昇級審査を行います。昇級して帯の色が変わっていくのも子供たちは楽しみにしているようです。免状に名前などを記入するのにパソコンの印刷では、礼を逸すると思ひまして筆で書きますが、以前は10枚書くのに何とまる一日かかりましたが、書道の教本を購入し独学しております。



昨年は、横山館長の特集記事が、武道や空手道の専門誌に何度も掲載され、自分も館長の相手とし無事責務を全うしましたが、更なる極めつけは、“ピンアン実践型をつかう”という題目でDVDの撮影に他の2名の先生(1名はヒューストンから)と参加したことです。

自画自賛ですが、素晴らしいDVDです。又、前期の授業に“ビジネス・マナー”の講義を機械科CADの生徒たちに講義してくださいと阿部先生(副校長)から要請がありました。

阿部先生は、金属科の“恩師”でありますのでお引き受けいたしました。もちろん会社の了解を得てこの講義は行いましたが(会社からは良いことなのでどんどんやりなさいと激励されました。)この時も空手道を教えてきた自信というものが根底にはありました。

毎週の資料作成が大変でしたが、学生達を知る良い機会であったのと同時に自分の長男も就職活動を行っている最中でしたので人事とは思えませんでした。

この講義終了後は、小さな記事となり、グループ会社を含め全世界約10万人位の従業員が観ていることと思います。

この自分の記事が暁雲に記載される頃は、残念ながら卒業式も終わってますが、卒業生に対しては、“卒業してつらい時、苦しい時いつでも母校(母港)に戻り身(心)体を癒してください。”とのメッセージをお送りいたします。その場所は絶対にあるはずです。

仕事以外に自分の“天命”と“師”を必ず探し出してください。(それには自分自身積極性が無ければなりません。)

自分に何ができるかよりも、何ができないかを知ることのほうが大切だ。

Knowing what you cannot do is more important than knowing what you can do.
Lucile Ball

THE SPECIAL ENGINEERING COLLEGE OF KOGAUNI UNIVERSITY, FOR EVER!!

